

単元名 私たちの課題 ー持続可能な社会をめざしてー
配当時間 10時間

単元の目標 (1) 持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題に関わる様々な資料から、情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
 (2) 持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
 (3) 持続可能な社会を築いていくために解決すべき課題について、課題や解決方法を考える活動を通して主体的に社会に関わろうとする。

標準的な展開例

12220302_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 単元の学習問題をつかみ、レポートのテーマを設定する</p> <p>○ 公民的分野の学習を振り返る。</p> <p>○ 単元の学習問題をつかむ。 ● 持続可能な社会をつくるために、私達にできることは何だろう。 ★ 学習の見通しをもち、レポートのテーマを設定しよう。 ○ 学習の見通しをもち、学習計画を立てる。</p> <p>○ テーマを設定する。</p> <p>2～4 資料を収集し、必要な情報を読み取る。 ★ 資料を集め、必要な情報を読み取ろう。</p> <p>○ 資料の収集と情報の読み取りを行う。 ・ この資料は、出典が行政機関のホームページなので、信頼できそう。 ・ 複数の資料で肯定的な意見がまとめられているが、否定的な意見はないのだろうか。</p> <p>5～6 集めた資料を基に、考察と構想をする。 ★ 集めた資料を基に、持続可能な社会を実現するためにはどのような政策が必要かを考えよう。 ○ 見方・考え方をを用いて、課題について多面的・多角的に考察する。</p> <p>○ 考察したことを基に、政策を構想する。 ・ この案は、すべての立場の人から賛成してもらえるだろうか。 ・ 環境や経済、社会の発展といった面で、犠牲になってしまっているものはないだろうか。</p> <p>7～8 レポートにまとめる。 ★ 追究してきたことをレポートにまとめよう。 ○ レポートの構成を考える。</p> <p>○ レポートを書く。</p>	<p>・ 教P. 212～P. 214</p> <p>・ これまで公民的分野で学習した内容を振り返らせることで、現代社会には様々な課題があったことや、それらの課題を克服するための取り組みが行われていたことを想起させる。</p> <p>・ それらの課題や取り組みは、すべて「持続可能な社会をつくる」ことにつながっていることに気付かせる。</p> <p>・ 本時はテーマ設定をするところまで行い、次時以降に資料収集と読み取りが3時間、考察と構想が2時間、レポートの作成が2時間、レポートの発表が1時間、単元のまとめが1時間の計10時間完了を想定しているが、生徒の実態に合わせて柔軟に対応する。</p> <p>・ 教P. 212に例示されている「伝統・文化」「政治・経済」「人権・平和」「環境・科学・技術」の四つの分類から選ばせた後、さらに具体的にテーマを設定させる。</p> <p>・ 教P. 215</p> <p>・ これまでに学習したすべての見方・考え方を複合的に用いて追究させる。</p> <p>・ 情報をどこから得たのかが分かるように出典を明記させる。</p> <p>・ 複数の資料を検討させることで、自分の考えに合う資料とそうでない資料があることに気付かせ、客観的に論を展開できるようにさせる。</p> <p>・ 地理的分野や歴史的分野の教科書も活用させるとよい。</p> <p>【評】資料の信頼性を踏まえつつ情報を集め、異なる資料を見比べたり結び付けたりして情報を読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・ 教P. 216～P. 217</p> <p>・ これまでに学習したすべての見方・考え方を複合的に用いて追究させる。</p> <p>・ 他のものや制度、地域などと比較したり、他の資料から分かることと関連付けたりさせることで、多面的・多角的に考察させる。</p> <p>・ グループで考察した内容を交流させ、自分の考えを見直し、修正させることで、より多面的・多角的に考察できるようにするとよい。</p> <p>・ 根拠を明確にして政策を構想させる。その際「効率と公正」や「対立と合意」といった見方・考え方に着目させ、多面的・多角的に構想の内容を検討させる。</p> <p>【評】持続可能な社会をつくるための方法について、資料を根拠として見方・考え方をを用いて多面的・多角的に考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 教P. 218～P. 219</p> <p>・ 教P. 219の「レポートを作成するためのポイント」やレポートの見本を参考にさせる。</p> <p>・ 資料を根拠とし、客観的な事実と自分の考え</p>

- 9 追究したことを発表する。
★追究したことを発表しよう。

○ 追究したことを発表する。

- 10 単元の学習を振り返り、単元のまとめをする。
★単元の学習を振り返り、社会への関わり方を考えよう。
○ 社会への関わり方を考える。

○ 社会への関わり方について、考えたことを話し合う。

- 話し合いの内容を踏まえて、考えをまとめる。
・ 自分にできる身近なことから、一歩ずつ取り組んでいきたい。
・ 友達の話聞いて、ただ取り組むだけでなく、それを続けていくことの難しさと大切さに気付いた。
・ これからも社会に関心を持ち、様々なことを知っていくことが大切である。

とを分けてまとめさせる。
・ 必ず参考資料や資料の出典を明記させる。
・ 教P. 220
・ これまでに学習した「効率と公正」や「対立と合意」などの見方・考え方をを用いて、他者のレポートを多面的・多角的に評価させる。
・ 教P. 220の「評価の視点の例」を基に評価基準を設け、相互評価させることで互いのレポートの課題に気付かせ、今後のレポート作成の参考にさせる。
・ 教P. 220
・ これまでに学習したすべての見方・考え方を複合的に用いて考えさせる。
・ 持続可能な社会の実現には、国や地方公共団体の政策や地球規模の国際協力が大切であるとともに、私たち一人一人が身近なことから取り組んでいくことが必要であることを捉えさせる。
・ ただ考えを発表するだけにならないよう、実現可能かどうかや、効率と公正、対立と合意といった見方・考え方に着目させ、考えについて吟味させる。
・ 再度、公民の一人として、どのように社会と関わっていきたいかを考えさせる。その際、教P. 221の「公民を学んで」を読ませることで、私たち一人一人が社会に関わっていくことの大切さを感じ取らせる。
【評】持続可能な社会を実現するために社会にどのように関わっていくかについて考えたり話し合ったりする活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】